

## マルコによる福音書 1章 21～28 節

一行はカファルナウムに着いた。

イエスは、安息日に会堂に入って教え始められた。

人々はその教えに非常に驚いた。

律法学者のようにではなく、権威ある者としてお教えになったからである。

そのとき、この会堂に汚れた霊に取りつかれた男がいて叫んだ。

「ナザレのイエス、かまわないでくれ。

我々を滅ぼしに来たのか。正体は分かっている。神の聖者だ。」

イエスが、「黙れ。この人から出て行け」とお叱りになると、

汚れた霊はその人にけいれんを起こさせ、大声をあげて出て行った。

人々は皆驚いて、論じ合った。

「これはいったいどういうことなのだ。権威ある新しい教えだ。

この人が汚れた霊に命じると、その言うことを聴く。」

イエスの評判は、たちまちガリラヤ地方の隅々にまで広まった。